

## 第2回三重県誕生150周年記念事業推進会議 概要

1. 開催日時：令和6年9月10日（火）14時15分～14時30分
2. 議事概要：以下のとおり

（小見山政策企画部長）

第2回三重県誕生150周年記念事業推進会議を開催する。まず、本会議の名称について、子どもたちをはじめ県民の皆さんがイメージしやすいものとするため、「県政150周年記念事業推進会議」から「三重県誕生150周年記念事業推進会議」に変更したので報告する。

6月に開催した第1回会議での「協議結果」、「知事指示事項」等をもとに検討した、三重県誕生150周年記念事業の「コンセプト」や「キーワード」など、取組骨子の（案）について事務局より説明する

●資料1について世古次長より説明。

（松下雇用経済部長）

三重県には県内伝統工芸品から先端の半導体産業など幅広い産業がある。このことを子どもたちに知ってもらい、ふれていただくというところから始めたい。企画の段階からしっかりと関係部局と検討し、一緒に良い取組を考えていきたい。

（福永教育長）

キーワードに主役は子どもたちと明確に示されたので、教育委員会として主体的、積極的に取り組んでいきたいと強く感じている。子どもたちが三重の歴史や今の魅力を学んで、そして三重の未来を描いていけるように、各部局と連携をしながら進めていきたい。

（長崎地域連携交通部長）

150周年という節目については、三重の様々な歴史、郷土の魅力を知っていただく絶好の機会であると考えている。三重の魅力を活用した事業の構築を進めるということと、市町との連携に向けた検討、調整をスタートさせるということであるので、政策企画部とも連携、相談しながら、市町と協力した取り組みを検討していきたい。

（中野農林水産部長）

三重の自然や食の魅力を知っていただく好機になるというふうに考えている。キーワードの主役は子どもたちとなっており、三重の未来を担う子どもたちが体験を通じて、この三重の良さ、三重の農林水産について理解を深めることが大切であり、関係部局と連携、相談して取組を検討していきたい。

（後田総務部長）

資料にもあるように、来年の4月18日の「県民の日」が150周年記念事業に向けた皮切りになる。具体的な内容はこれからであるが、150周年記念事業にうまくつなげていけるように、各部局にもいろいろ協力いただきたい。

(一見知事)

「三重県誕生 150 周年」というわかりやすいキャッチフレーズにもなったと思う。これを進めるにあたり、一つは、三重県在住者に、皆さんの住んでおられるところは 150 年の歴史がありますよということ知ってもら、もう一つは、150 年記念事業を三重県でやるということによって、県外の方々にも三重県というのは住みよいところということがわかるような事業を進めて欲しい。

さらに、主役は子どもたちであるが、子どもたちが自発的、主体的この先どういうふうにしていくべきなのかということを考えるようなイベントを考えて欲しい。

また、市町、企業、団体の皆さんに、150 周年を盛り上げていこうという気持ちを持っていただけるよう、事業の検討をお願いしたい。